

◆第65回人権週間

12月4日～10日は

「人権週間」です



みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち・育てよう 思いやりの心～

世界人権宣言は1948年12月10日に国連で採択され、これを記念して国連では12月10日を「人権デー」と定めました。

日本では、12月4日から10日の「人権デー」までの1週間を「人権週間」と定め、全国各地で講演会の開催や街頭啓発など各種事業を展開しています。

誰もが幸せに暮らせるよう、家庭や職場、地域社会、学校生活の中で、差別や偏見をなくし、人権に関する正しい理解を深め、人権を尊重する社会を築きましょう。

※人権問題など悩みごとでお困りの方は、法務局やお近くの人権擁護委員にお気軽ににご相談ください。
(無料、秘密厳守)

＜鏡野町の人権擁護委員＞

○廣田 厚正(円宗寺) ○藤田 知子(香々美)
○池田 初江(入) ○池田 稲波(河本)
○永田 稔(養野) ○石原 知志(奥津川西)
○牧野恵美子(上齋原) ○山崎 恵子(富東谷)

岡山県地方法務局津山支局・津山美作人権擁護委員協議会
津山地域人権啓発活動ネットワーク協議会

電話(0868)22-19157

鏡野町人権問題講演会

立木 早絵さん

「さらなる一步を踏み出そう!」 講演会&ピアノ弾き語りコンサート

10月20日、鏡野中学校の講堂で開催しました立木早絵さんの講演会には、町内外からの小・中学生や一般の人たち約170人が集まり、トークやピアノの弾き語りを聴き、人権についての理解を深めました。

立木さんは1992(平成4)年生まれ。2歳の時に病気で失明しますが、スポーツ万能な少女として成長し、障害者のスポーツ大会で優勝し注目を集めます。津軽海峡横断リレーやトライアスロン、キリマンジャロ登山などに挑戦する姿がテレビで紹介され、現在は講演活動や音楽活動にも力を入れておられます。

講演では、家族や周りの人のおかげでいろいろなことが乗り越えられたと感謝し、「若い人には限りない可能性がある。何でも全力で頑張って、やってみることが大事」と呼び掛けました。また、「外国と比べて日本では障害がある人となない人に壁が感じられる。心のバリアフリーはまだまだ。心の壁が取り除かれていけば」と話されました。ピアノの弾き語りではオリジナル曲3曲を披露し、今後は、音楽を通して思いを伝えていけるようなアーティストになりたいと締めくくりました。

アンケートにたくさんの感想をいただきましたので、その一部をご紹介します。

○10歳代女性

真っすぐな立木早絵さんに心打たれました。

○20歳代女性

立木早絵さんの強さの元になっているものを知りました。お話や歌から人権について考えさせられるところがたくさんありました。自分のできることとして、自分の周りの人たちに、出会った人たちを大切にしていきたいです。

○30歳代女性

講演では前向きな言葉(思い)を伺い、励まされました。ピアノ弾き語りのオリジナル曲では歌詩からたくさんのメッセージを受け取りました。立木さんに教わった「カベ」を作らない。心のバリアフリーを心がけていきたいです。

○40歳代男性

前向きに一生懸命に生きている人からのお話を聞くと勇気と元気が出ます。ハンデのある方との壁がなくなる社会を目指したいと思います。

○50歳代女性

「人はみんなちがってみんないい」…そんな言葉だけが一人歩きしない社会でありたい。「人権」の一番底にあるのは、どんな人でも「世界でたった一人のあなた、たった一人の自分」ということではないかと思っています。

○60歳代男性

とても感動した。立木さんの経験や考え方を聞いて、今後も人権問題の事を含め、いじめや不登校、いろいろな課題についての学習を続け、頑張りたいと思った。

○60歳代女性

自分の人生を見直すことができました。期待通りすばらしい講演会で感動しました。今後の活躍を応援しています。

